

# 日仏哲学会

*Société franco-japonaise  
de philosophie*

会報 106 号 2025 年 8 月 10 日

2025 年秋季大会のプログラムが以下のように決定いたしました。

原則的に対面方式で、総会とシンポジウムのみオンラインと併用いたします。

ZOOM ミーティングの URL や注意事項などについては、大会の一週間ほど前にメールで全会員にお伝えします。連絡を確実にを行うため、メールアドレスを事務局に伝えていない方、または変更のある方は、学会ウェブサイトの変更申請フォーム <https://sfjp-web.net/admission/> にて入力をお願いいたします。

会費納入については、学会振替口座への振込みとなっております（後掲の「会費納入のお願い」を参照）。9 月に年度が変わりますので、2025 年度分の振込をよろしくをお願いいたします。

## 【2025 年秋季大会プログラム (HP にも掲載します)】

日時：2025 年 9 月  
13 日（土） - 14 日（日）

場所：立教大学（池袋）  
13 日は 4 号館、14 日は 14 号館

形式：対面  
(総会とシンポジウムのみ  
オンラインと併用)



9月13日(土)

一般研究発表 9:00-13:25

①9:00-9:40 ②9:45-10:25 ③10:30-11:10 ④11:15-11:55 ⑤12:00-12:40 ⑥12:45-13:25

第1部会 教室 4339 司会：①②鈴木泉 ③④⑤秋保亘

- ①高ともみ「魂＝矛盾——デカルトとレヴィナスにひらかれた「問い」の通路として」
- ②三上航志「デカルトにおける「高邁なる者」の決意はいかなるあり様をしているのか」
- ③佐々木晃也「スピノザにおける相異性の問題」
- ④真野雄大「スピノザ『エチカ』における個体の概念——個体に対する〈関係〉の先行性の視角から」
- ⑤時田雅生「ドゥルーズのスピノザ解釈——「二つのエチカ」から「三つのエチカ」へ」

第2部会 教室 4340 司会：①②③中原真祐子 ④⑤天野恵美理

- ①楠原涼平「ベルクソンの方法論における「問題の提起」について」
- ②伊東幸多郎「ベルクソンの *sensibilité* 概念を再考する」
- ③磯島浩貴「否定の直観とソクラテスのダイモーン：「哲学的直観」における「イメージ *l'image*」の機能」
- ④長島慧治「ジャン・ピアジェの発生的認識論における〈抽象〉というメカニズムについて」
- ⑤池田信虎「ジョルジュ・カンギレムにおける規範パラドックスの「概念と生命の等式」による解決」

第3部会 教室 4341 司会：①②合田正人 ③④岩野卓司 ⑤⑥郷原佳以

- ①宮代康丈「ルヌヴィエにおける道徳と法：適用の観点から」
- ②小林敬「アラン（エミール・シャルチエ）の思想史上の位置づけ」
- ③三浦真空「前期サルトル倫理思想における本来性概念」
- ④梁安吉子「ジャン・バリュージにおける「新たな思考の様式 *Une nouvelle forme de la pensée*」としての神秘体験」
- ⑤三ツ谷直子「モーリス・ブランショにおける詩のイメージ II：『文学空間』を中心に」
- ⑥毎床玲音「ジャン・グルニエ『絶対と選択』における存在論的な「*indifférence*」

第4部会 教室 4403 司会：①②馬場智一 ③④黒木秀房 ⑤⑥小倉拓也

- ①野々村伊純「社会的振る舞いの真正性と想像的なもの：メルロ＝ポンティにおける情動論からの考察」
- ②Maxime Brion, Martin Heidegger, Emmanuel Levinas et Jean-Louis Chrétien : *l'irrésiliable et l'irréversible*.
- ③吉田杉「"Yesterday"は<Yesterday>ではなかった!?:「諸能力の連鎖」を歌う」
- ④長谷川朋太郎「前期ドゥルーズ哲学における構造と実存」
- ⑤濱中健太「ドゥルーズ&ガタリの戦略としてのマイノリティについて：「機能 K」と「マイナー性への生成変化」
- ⑥濱田力稀「『千のプラトー』におけるリトルネロの概念について —領土化と脱領土化の間で—」

第5部会 教室 4404 司会：①②桐谷慧 ③④西山雄二 ⑤⑥宮崎裕助

- ①中谷碩岐「ジャック・デリダのデカルト主義」
- ②王紀元「隠喩と翻訳のあいだ、現前を考える——前期デリダのハイデガー読解について」
- ③松田智裕「書くことの規範——GREPHにおける「小論文」と「考えること」について——」
- ④柳沢隆幸「デリダにおける二つの諦め——renoncer と résignation」
- ⑤佐藤瑞起「兄弟化と決断：デリダの「兄弟原則の彼方の政治」解明にむけた考察」
- ⑥石原威「ラディカル無神論批判」

14:15-15:15 総会 (4号館 4402 教室にて対面+配信のハイフレックス式)

### シンポジウム「ドゥルーズ生誕 100 年——内在・生成・生」

(以下、3セッションすべて対面+配信のハイフレックス式)

ドゥルーズはガタリとともに、哲学を概念の創造と規定した。その創造された概念は、今日にいたるまで様々な領域で大きな影響を与え、絶えず新たに解釈され、また用いられてきた。本シンポジウムでは、ドゥルーズ生誕 100 年を機に、ドゥルーズ哲学の本質的な概念を、問題提起的な側面も視野に入れつつ、「内在と超越」、「生成変化とマイナー性」、「非有機的なものと生」に見定め、二日間にわたり、学会内外の精鋭たちとともに、それらを多角的に、そして深く論じていく。

15:30-18:00 シンポジウム I 内在と超越 (4号館 4402 教室)

司会：合田正人

15:30-15:35 趣旨説明

15:35-16:05 江川隆男「いかにして内在論を形成するか」

16:05-16:35 押見まり「主体性と否定性——ヴァールの超越、ドゥルーズの内在」

16:35-16:45 休憩

16:45 :17:15 平田公威「抽象機械、リトルネロ、内在平面——ドゥルーズ=ガタリ『千のプラトー』再考」

17:15-18:00 全体討議

18:30-20:30 懇親会 立教大学 第一食堂

会費 5000 円/学生・院生・非常勤職 3000 円

基本的に事前予約制。下記のフォームから入力を御願います。8/31㊄切。

<https://forms.gle/snJoXPc8DrTv3vBk8>

9月14日(日)

13:00-14:05 シンポジウム II 生成変化とマイナー性 (14号館 DB01 教室)

司会：小倉拓也

13:00-13:05 趣旨説明

13:05-13:35 堀千晶「暴力と情動、あるいは先導獣の微笑み」

13:35-14:05 後藤浩子「資本主義と認知症：ロゴスから迷い出る力能としてのマイナーなもの」

14:05-14:25 休憩

**14:25-17:00 シンポジウムⅢ 非有機的なものと生** (14号館 DB01 教室)

司会：小倉拓也

14:25-14:30 趣旨説明

14:30-15:00 宇野邦一「「非有機的」という概念の再検討」

15:00-15:30 小泉義之「超越論的場と生」

15:30-15:50 休憩

15:50-17:00 シンポジウムⅡ・Ⅲ 全体討議

---

**【お知らせとお願い】**

**1. 今後の大会**

2026年春季大会は立命館大学にて、2026年3月14日(土)に開催される予定です。2026年秋季大会は専修大学にて、2026年9月に開催される予定です。

**2. 会費納入のお願い**

基本的に会員からの会費納入によって本学会の運営は成立しています。つきましては、会員の皆様には遅滞なく年会費(4000円)を納入して下さいますよう、改めてお願い申し上げます。下記の学会振替口座から常時お振込みいただけます。

**3. メールアドレスご登録のお願い**

「会報」はメール添付での発送となっております(後日ウェブサイトで公開)。メールアドレスの変更がありましたら、学会ウェブサイト(<https://sfjp-web.net/admission/>)での「住所・所属変更申請フォーム」に記載をよろしく申し上げます。

**【日仏哲学会事務局】**

〒192-0397 東京都八王子市南大沢 1-1

東京都立大学 人文科学研究科 西山雄二研究室内

メール：[secretariat.sfjp@gmail.com](mailto:secretariat.sfjp@gmail.com)

郵便振替口座記号番号：00120-6-194046 / 加入者名：日仏哲学会

---